ネベリスク市友好都市40年記念事業

9月4日から、商工会議所や市議会など総勢21人の皆さんと、友好都市提携40年の記念式典に出席するため、ネベリスク市を訪問してきました。

ネベリスク市では、市長をはじめ代表者の皆さんから心温まる歓迎を受け、ネベリスク市民や関係者約300人が出席する中、式典が行われました。

私からは「両市の友好都市交流を、地域の未来を担う若い世代へ着実に引き継ぎたい」と挨拶してきました。

記念式典で挨拶を行うバク市長（左）と工藤市長（右）

この友好関係は、ちょうど40年前の同じ9月4日、当時の浜森市長を団長とするサハリン友好訪問使節団一行が、稚内港から船でネベリスク港へと向かい、友好都市を締結したところから始まりました。

わずか135トンの船でしたが、稚内港から直接、サハリンへ向かうのは、戦後初のことであり、改めて先人の勇気と先見性に敬意を表します。

以来40年、友好親善からはじまったサハリン州各都市との交流ですが、この間、本市とサハリンは定期航路で結ばれ、また本市の企業がサハリンで事業展開するなど、その関係は大きく様変わりしています。

これまで築いてきた互いの信頼関係を礎（いしずえ）に、サハリンとのパートナーシップを、変わらぬ友情で、なお一層強めていきたいと考えています。

合宿・コンベンションの誘致状況

本年は、特に8月以降、全道・全国規模の大会等が相次ぎ開催されています。

『日本青年会議所 北海道地区大会』約800人、『日本応用数理学会』約380人をはじめ、『稚内ライオンズクラブ認証50周年記念式典』、『境界地域研究ネットワークJAPAN稚内・サハリンセミナー』、など、市外から合わせて約2千人の皆さんが参集しています。

さらに、本日からは『全国風サミット』、また10月以降も『PTA北海道ブロック研究大会』、『北海道スポーツ推進委員研究協議会』などが開催されます。

日本青年会議所 北海道地区大会 稚内大会で挨拶する工藤市長

特に学会については、昨年度も本市で日本太陽光エネルギー学会などが開催されており、これらの誘致経験を生かし、多数の会員を持つ「学会」の開催誘致にも取り組みたいと考えます。

一方、官民挙げて組織した「スポーツ合宿誘致推進協議会」は、設立3年目を迎えました。

合宿参加者は、年度末で34団体、約750人、延べ宿泊者数も昨年実績の7割増となる約3,900人を見込んでいます。

今年は、ホテルなど市内の宿泊施設を利用する合宿が増え、街中で、イベントへの参加や買い物をする選手の姿が目立っており、合宿の経済波及効果も高まっていると考えます。

今後も、様々なイベント・コンベンションや合宿を誘致して、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化に努めます。

宝来団地2号棟の完成

このたび7月25日、平成17年度に完成した宝来団地1号棟に続き、2号棟40戸が完成しました。

老朽化が進む富士見、恵比須、潮見ヶ丘の各市営住宅からの住み替えのほか、一般公募で入居者を募り、8月1日から入居を開始しました。

2号棟は、環境に配慮した〝次世代省エネルギー基準〟に適合した公営住宅で、廊下幅やトイレの広さに配慮したユニバーサルデザインを取り入れています。

この完成により、「まちなか居住推進計画」で予定していた、市営住宅2棟80戸、道営住宅1棟40戸という一連の「宝来団地整備事業」が全て終了しました。

また、住宅管理上の課題であった「使用期間を過ぎた住宅」、「水洗化されていない住宅」240戸のうち、222戸が改善され、「浴室がない住宅」も全て解消されました。

10階建の2棟が並ぶ宝来団地

特別養護老人ホーム整備事業候補者の決定

特別養護老人ホーム（以下「特養」）については、入所待機者の解消を図るため整備の必要性を強く感じ、私自身「10の約束」の一つとして、増床を掲げてきました。その整備事業候補者が決定したので報告します。

本年3月に策定した「第5期稚内市介護保険事業計画」の中で、本格化する超高齢社会に備え、特養40床をはじめ、グループホームの定員増など、必要な介護基盤の整備を予定しました。

このたび、整備を希望する事業者の公募を行ったところ、1法人から応募があり、稚内市介護保険運営協議会を開催し、計画書の審査とヒアリングを実施しました。その結果、満場一致で稚内市社会福祉事業団が選定され、これを受け、7月末に市として特養の整備事業候補者に決定しました。

特養の指定権限は北海道にあり、整備事業候補者は、決定後に早速、整備計画と助成申請書を北海道に提出しています。本市としても整備要望が採択されるよう、事業の決定を行う北海道に対して、意見書を提出したところです。

今後、北海道の「有識者会議」で、全道から提出された整備計画の内容、各施設の適否・優先度について審議され、その採否が今年度中に決定される予定です。

今回の計画が採択されると、特養の増床は、来年7月に着工し、平成26年3月に完成する予定です。

藤田征樹選手・銅メダル獲得

8月29日から、ロンドンで開催されていた「2012ロンドンパラリンピック」に、本市出身の藤田征樹選手が自転車競技の日本代表として出場しました。

藤田選手は、前回の北京大会で二つの銀メダルに輝いたトラック種目でメダルを逃したものの、16キロメートルロードタイムトライアルのC3クラスでは、同じ種目で二大会連続銅メダル獲得という輝かしい成績を挙げました。

市民の皆さんからは、「今度こそ金メダルを」との大きな期待と声援が寄せられる中、トラック種目では、国際ルールの変更もあり苦戦を強いられましたが、その逆境をバネに、ご本人の努力と精神力で見事に期待に応えた藤田選手に、心から敬意を表します。

今後、藤田選手が帰省される際には、市民の皆さんと一緒に、喜びを分かち合える機会を設けたいと考えています。

銅メダル獲得し笑顔の藤田選手
提供・エックスワン